

令和6年度 デイサービスセンターかがみいし 事業報告書

1.事業運営の概況

令和6年度の稼働率は71.6%で昨年比では4.6ポイント増加したが、目標の80%には大きく届かなかった。

令和7年3月末時点での登録利用者35名、男性:12名、女性:23名で平均介護度は2.0となっている。

2.事業計画実施状況

(1) 堅実な事業運営

① 稼働率の向上

稼働率80%を目標に取り組み、月あたり2名ほど新規契約があり、平均利用者数が4月時点で9.2人から、10月には12.1人と増加したが、11月以降体調不良、入院、施設入居等により利用終了者が増加。

また令和6年7月から8月にかけて、デイサービス利用者および職員で新型コロナ感染者が発生し稼働率が低下。令和6年度の平均稼働率は71.6%となり、目標の80%には大きく届かなかった。

利用者の担当ケアマネジャーの内部のケアマネ率が約80%と高いため、令和7年度は外部のケアマネの利用率を上げていく。営業活動と空き状況の提供、パンフレットのリニューアル、書面及びホームページでの活動状況の発信、居宅介護支援事業所への訪問による顔の見える関係作りに努め、稼働率向上を図る。

② サービスの向上

- ・連絡帳や送迎時に家族からの連絡、要望を聞き、速やかに対処した。
- ・利用者様の体調変化、状態を家族に素早く報告し、適時的確なアドバイスを家族に提案してきた。

③ 感染症対策

- ・7月末より新型コロナが流行り始めたため、利用者様同士の距離の確保やパーテーションを置くなど感染対策を強化した。
- ・利用中に発熱、嘔吐などあった場合、感染しないよう場所を離し、家族に連絡し、速やかに退所いただいた。

④ 働きやすい環境作り

- ・各職員の家庭事情を考慮し、勤務調整を図り、働きやすく続けられる職場環境作りに努めた。
- ・作業の効率化を図るため、介護業務支援ソフトを利用するための準備を行った。

(2) 介護力の向上

① 職員資質の向上

- ・各種ツールを使用し、利用者様、個々にあった介助方法を職員全員が周知するようにした。
- ・ヒヤリハットや事故事例を職員で共有し、新たな事故につながらないよう職員間で話し合った。

②機能訓練の充実

- ・一人ひとりの身体状況やニーズに沿った訓練を、機能訓練指導員と介護職員と連携して行った。
- ・毎月・体重・握力を測定してデーターを取り、健康状態の把握をし、身体機能の維持に役立てた。

③利用者の健康管理

- ・利用者の健康状態に注意し異常時には、家族及び主治医と連携し迅速かつ最善の対応に努めた。
- ・利用者様の薬の内容、錠数など特に注意して確認した。

(3) 地域との連携

① 地域行事への参加

地域防災訓練や、屋外歩行訓練も兼ね、地域の催し物に参加した。

② 地域への積極的な情報発信

- ・令和6年9月と令和7年3月に運営推進会議を開催し運営状況や活動状況の報告を行った。また、適時、ホームページにて活動状況の発信を行った。

(4) 安全対策

① 非常災対策

特別養護老人ホームと協同し災害を想定した防災訓練を実施し、災害時対応の再確認を行い、防災意識の向上に努めた。

② 交通安全

- ・送迎前後前と帰りの送迎後に、アルコールチェッカーによる飲酒確認を行った。
- ・利用者および職員のシートベルト着用の徹底と確認を実施し、安全運転に努めた。

令和 6 年度年間行事

月	開催行事
4 月	桜見学(妙善寺)・クレープ作り・うどん作り ごんぎつねボランティア(読み聞かせ)
5 月	かぐや姫ミュージアム見学・まんじゅう作り ごんぎつねボランティア(読み聞かせ) 家庭菜園(ピーマン・ミニトマト) 富士と港の見える公園
6 月	あじさい見学(岩本山)・ようかん作り ごんぎつねボランティア(読み聞かせ)
7 月	昼食作り(そうめん・餃子作り)・かき氷
8 月	蒸しパン作り・フラ&ピアノボランティア
9 月	きらきらゼリー作り・秋祭り
10 月	福祉展見学・さつま芋ケーキ作り
11 月	三日市浅間神社(菊花展)・りんごのコンポート 歌ボランティア
12 月	かぐや姫ミュージアム見学・クリスマス会(ケーキ作り・演奏ボランティア)
1 月	うどん作り
2 月	豆まき・ワッフル作り・ハート型ケーキ作り
3 月	お雛様クレープ作り